

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 新規就農者に対する受入・支援対策

J A 名 びらとり（北海道）

1 動機 （経緯）	当地域は農業を主たる産業とする純農村地域ですが、過疎高齢化や後継者不足が進んでおり、喫緊の課題である農業の担い手確保、生産基盤の維持確保に努めるため、町外から積極的に新規就農希望者を農業研修生として受け入れ支援する体制を J A ・町・地域（受入農家）が一体となって取組んでいます。
2 概要	（1）平取町農業支援センター 平成元年に設立した「平取町農業支援センター」（J A ・役場等）が窓口となって平成 1 0 年から新規就農希望者を農業研修生として受け入れています。 新規就農希望者の作物は特産のトマトの施設栽培に限定していますが、J A において生産者が肥培管理に専念できるよう環境を構築しています。 （2）受入・支援スキーム ①就農相談、現地調査、選考・結果通知（募集戸数は毎年 2 戸） ②研修初年目 町内の農家で 6 ～ 8 ヶ月農家研修を行う。 ③研修 2 年目 町内に 2 ヶ所ある町営実践農場で 1 年間の実践研修を実施し、この間、就農予定地の調査を行う。 ④研修 2 年目 1 0 月頃 J A が整備した新規就農者用リース農場で、就農事業費に対し 500 万円を上限に町より助成。
3 成果 （効果）	（1）新規就農者の定着 平成 1 5 年から平成 2 5 年までに、1 5 組が就農しています。 <新規就農者と部会の生産実績比較> ・新規就農者 H23～25 年平均 41.2(kg/坪) 13,826 円/坪 ・トマト部会 H23～25 年平均 34.9(kg/坪) 11,409 円/坪 （2）就農施設等資金（現：青年等就農資金） 新規就農者に対して当資金を対応しており、残高も伸長しています。 <当資金の貸付・残高実績> ・貸付実績 H22:4,900 千円、H23：13,800 千円、H24：6,260 千円、 H25:15,586 千円、H26：11,350 千円 ・貸付残高 64,704 千円（H27.3 末現在）
4 今後の予定 （課題）	J A と町とが緊密に連携して新規就農者向けの受入体制を確立させている当町への就農希望者も多くなっていることから平成 2 3 年度に 2 ヶ所目の実践農場を整備し、研修内容の更なる充実と新規就農者の受入体制の拡充を検討しています。